

教科(科目)	地理歴史(地理B)	単位数	3	学年	2学年文系
使用教科書	新編 詳解地理B 改訂版(二宮書院)、新詳高等地図(帝国書院)				
副教材	「最新地理図表 GEO 三訂版」第一学習社				

1 学習目標

現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、現代世界で生きていくことの意味を自問して、新しい社会づくりに自ら主体的に参画する自覚と資質を養う。

2 指導の重点

- ① グローバルな時代を生きぬくための基礎的な知識を学ぶとともに、「考える」ことの大切さに気づかせる。
- ② 世界の多くの国の文化を学ぶとともに、「個人」と「集団」との違いを考えさせる。
- ③ 単元ごとに世界的規模の問題を取り扱い、グローバル社会に生きることを考えさせる。
- ④ 発展途上国の現状を学ぶとともに、「教育を受けることができる」ことの大切さに気づかせる。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動	時間	評価方法
4	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 1. 現代世界の地図 2. 地図の種類とその利用 3. 地理情報の地図化 2章 地図の活用と地域調査	教科書 地図帳 資料集	・現代の地図、身近な地図の特質を考察すると共に、人々の世界観の変化を理解する。 ・地図の描画法の種類と特質を考察し、世界各地の時差とその影響を理解する。 ・地理情報を地図化する作業を通して、地図のさまざまな利用方法を考察する。 ・地域調査の手順を理解し、地図を活用する技能を身に付ける。	9	授業の取り組み
5	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 1. 世界の地形	教科書 地図帳 資料集	・世界の大地形をつくる内的営力について考察する。 ・外的営力によってつくられる小地形について考察する。	9	授業の取り組み 中間考査
6	2. 世界の気候	教科書 地図帳 資料集	・世界各地のさまざまな気候の特徴とその成り立ちをケッペンの気候区分を利用して考察する。 ・世界一多い、日本の自然災害を考察する。 ・環境問題の原因とその取り組みについて考察する。	12	授業の取り組み
7	2. 世界の気候 3. 日本の自然の特徴と人々の生活 4. 環境問題	教科書 地図帳 資料集	・世界各地のさまざまな気候の特徴とその成り立ちをケッペンの気候区分を利用して考察する。 ・世界一多い、日本の自然災害を考察する。 ・環境問題の原因とその取り組みについて考察する。	11	授業の取り組み 期末考査 ノート点検
8・9	2章 資源と産業 1. 世界の農林水産業 2. 食料問題	教科書 地図帳 資料集	・自然条件や社会条件に着目して、世界の農業を自給的な農業と商業的な農業に分けて考察する。 ・現代および未来の食料問題について考察する。	12	授業の取り組み
10	3. 日本の農業と課題 4. 資源エネルギー問題	教科書 地図帳 資料集	・集約的稲作農業に分類される日本の農業を世界と比較しながら考察する。 ・エネルギー資源の課題について考察する。	11	授業の取り組み 中間考査
11	5. 世界の工業	教科書 地図帳 資料集	・世界各地の工業について、その特徴や種類について系統的に考察する。	11	授業の取り組み

12	6. 第3次産業	教科書 地図帳 資料集	・世界各地の工業について、その特徴や種類について系統的に考察する。 ・第3次産業について、その特徴や種類について系統的に考察する。	6	授業の取り組み 期末考査 ノート点検
1	7. 世界を結ぶ交通・通信 8. 現在世界の貿易と経済圏	教科書 地図帳 資料集	・現代の交通・通信について、その特徴や種類について系統的に考察する。 ・現代世界の貿易の現状と課題を通して、日本の貿易について考察する。	6	授業の取り組み
2	3章 人口、村落・都市 1. 世界の人口	教科書 地図帳 資料集	・人口問題の種類と特質について、地域的差異に注目して、考察する。	6	授業の取り組み 期末考査 ノート点検
3	2. 人口問題	教科書 地図帳 資料集	・人口問題の種類と特質について、地域的差異に注目して、考察する。	3	課題レポート

合計時数×1.1／単位数＝ 35 計 96 時間(55分授業)

4 課題・提出物等

・ノート点検については、各学期ごとに行います。

5 評価基準と評価方法

評価は次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的、地誌的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて表現する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けるとともに、追究した過程や結果を適切に表現する。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。

以上の観点を踏まえ、

- ・授業への取り組み(授業態度、学習活動への参加状況)
 - ・提出物
 - ・定期テスト、課題レポート
- などから総合的に判断します。

6 担当者からの一言

・地理を学ぶということは、私たちが生きている、グローバル化した国際社会を生きる上で、とても大切なことです。特に発展途上国と先進国を比べることにより、日本がいかに恵まれている国かを理解することができます。それを理解すると、目の前のことにもう少し積極的に取り組むことができないでしょうか。皆さんが途上国の子供たちを今すぐに助けることはできませんが、常に意識することはできます。そのためにも高校生の間にその事実を「知る」ことを行ってください。